

# 学校研究

## 1 研究主題

「生徒が主体的に学び、思考を深めることができる授業の実践」

～聴き合い・話し合いの場面と学びの深まりの自覚～

## 2 主題設定の理由

昨年度は、「生徒が主体的に学び、思考を深めることができる授業の実践」の研究主題のもと、授業改善の視点として以下の3つをあげて研究を進めてきた。

- ①思考の深まりにつながる聴き合い、話し合いなど、学び合う場が設定されているか。
- ②教師の意見の取り上げ方や問い返し・ゆさぶりに工夫があるか。
- ③ふり返りを通しての生徒の学びの自覚化があるか。

この1年間は、以上の3つの視点を意識しながら、すべての教科の先生方が日ごろの授業改善に取り組んできた。その成果が、生徒アンケートから見える、授業は先生の話聞くだけでなく、自分達で話して、聴いて、考えて創り上げていくものという生徒自身の思いであろう。学習はやらされるのではなく自主的に行うものだという意識を、個人の生徒だけでなく集団の中に培われつつある。これは、授業以外でも様々な活動の中で、生徒の自主性を重んじた的確なサポートがあつてのことと考えられる。生徒会、各学年リーダー会を中心とした活動で、生徒が安心・満足できる集団作りがなされてきた証拠であり、学習基盤づくりの大切さがより明確になったといえる。

また、新学習指導要領の趣旨である深い学びを実現させるための1つの手立てとして、授業のふり返りを活かす取り組みを進めてきた。ここ数年は、各教科でふり返りの時間は確実に確保され実際に生徒の中にも定着はしている。しかし、それが求められている深い学びにつながっているかといえ、まだ十分ではない。その生徒にとって深い学びに繋がるふり返しとはどんなふり返しなのかを、指導する側が単元全体のねらいと合わせて明確に持っている必要がある。そのために、今年度は、単元をつらぬいて生徒につけさせたい力をはじめ、単元全体を見通した授業計画、指導の工夫、評価の方法、評価の活かし方を考えていくことを研究の柱の1つとしたい。

そこで、今年度も昨年度からの継続で「生徒が主体的に学び、思考を深めることができる授業の実践」を研究主題とし、「聴き合い・話し合いの場面づくり」と「学びの深まりの自覚」に重点を置き、研究を進めていく。

以上2点を踏まえれば、本校の生徒の学力の課題としてあげられる「発表力」「記述力」の向上につながるのではないかと考える。教師主導になっている場面を生徒の主体性が生かせるような場面を作ること、積極的に取り組みたくなる課題設定、授業展開、ワークシートの工夫や、評価の方法、教師のコーディネート力を磨くことが、深い学びの自覚ができる生徒の育成に繋がるはずである。また、今年度は GIGA スクール構想の中で、よりタブレット利用の効果が期待されることとなる。本校でも各教科の授業において、効果的な利用法を考えていくように研修を進める。

今まで培った学習基盤・温かな人間関係作りを土台に、生徒一人一人の人間的な成長を手助けし、確かな学力が身につくような手立てを追及していきたい。

めざすは・・・

**個人の力が集団の力に、そして、集団の力が個人の力に生きる授業**

なお、研究の推進にあたっては教職員のさらなるコーディネート力・実践力の向上に向けて、校内研修を年間計画に盛り込み、授業改善に向けた研修を行っていくこととする。また学習指導部、生徒指導部、教科部会、学年部会との連携を図りながら、教職員全体にとっても実りある研究の推進に努めていきたい。

### 3. <研究内容>

#### (1) 授業改善の取り組み

##### ①単元全体を見通した指導計画（評価計画を含めて）の作成

- ・教師と生徒が単元を通して身につけるべき力を共有するための工夫をする。
- ・指導と評価の一体化をはかる。

##### ②授業展開の工夫

- ・聴き合う、話し合う場面の設定  
効果的な学習形態（ペア学習・グループ学習）や発表形態（話型）の工夫をする。  
個人思考・集団思考、そのあとの個人思考ができるよう、適切な時間の確保をする。
- ・主体的・意欲的に活動できる課題の設定をする。
- ・思考ツールを用いるなど、情報を整理できるワークシートの工夫をする。
- ・タブレットの効果的な利用法を心がける。
- ・生徒自身が表現する学びの実感や達成感のあるふり返りを心がける。

##### ③家庭学習の充実

- ・家庭学習と連動した評価の工夫をする。

#### ○研究の方法

##### ①教師同士の学び合い

- ・校内研修の充実  
研究の方向性や授業改善にむけた取り組みの共通理解を図る。  
生徒の主体性を意識した授業実践研修を行う。  
新学習指導要領に則った評価の研修を行う。  
授業におけるタブレット有効活用の研修を行う。
- ・授業互見週間を通じて、教職員間で授業の検証を行い、授業改善の一助とする。
- ・校内サポート事業の活用や外部講師の招聘をもとに、指導助言を得る。

##### ②生徒による授業アンケートを生かす

- ・全国学力・学習状況調査や県基礎学力調査を分析し、授業改善に生かす。
- ・生徒による授業アンケートを学期ごとに行い、分析・実態把握をし、授業改善に努める。

##### ③小中連携を生かす

- ・小中連携の中で、全国学力・学習状況調査や県基礎学力調査の結果を共有し、分析を行い、系統的な指導と授業改善に役立てる。
- ・教師の発問やコーディネートの方法など、小学校の先生方の手法から学ぶ。

#### (2) 学習基盤の整備

##### ①学級経営・教科指導の充実

- ・教師と生徒、生徒同士が、温かい人間関係、信頼関係で結ばれ、高い目標に向かい切磋琢磨する学級集団、学習集団の実現を目指し、学級経営、学習指導にあたる。

##### ②授業規律の確立～行動目標：学ベル「み・ゆ・き」4箇条～

- ・ベル学（チャイムとともに授業を始める）
- ・きちんとした礼・挨拶
- ・正しい姿勢・服装で授業を受ける。
- ・話をしっかり聴く。

##### ③絆づくり・集団づくり ～行動目標「あすをはじく」～

- ・生徒会やリーダー会活動を充実させ、生徒の主体性を育むことや集団生活の向上に努める。
- ・学活や学校行事などを通して、仲間づくりや集団づくりに努める。

#### ④授業のUD化

- ・本時の「学習課題」と「今日の流れ」，「まとめ」を板書する。
- ・担任は黒板に余分なものを貼らず，集中できる環境づくりに努める。

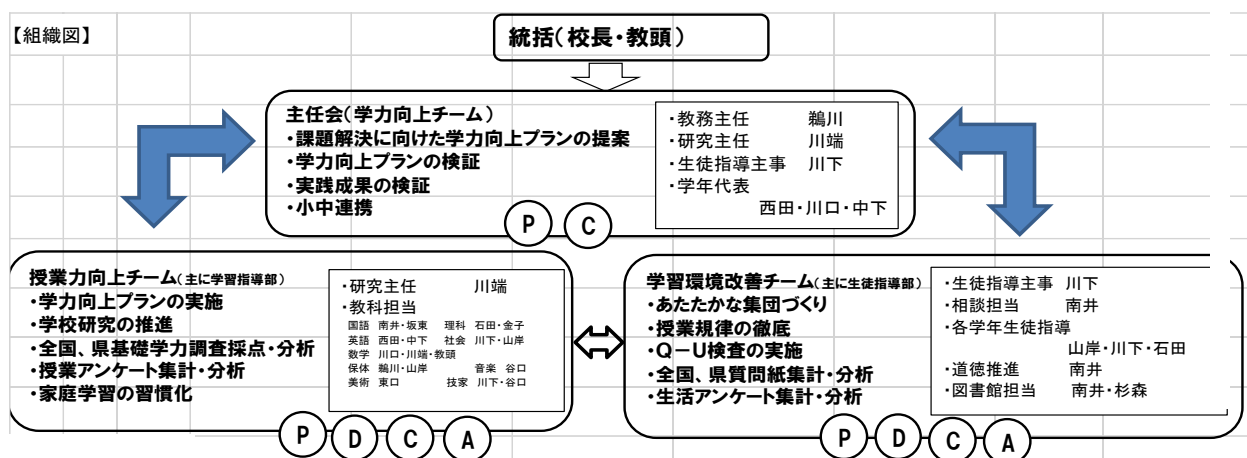
#### ⑤家庭学習の意欲喚起

- ・集会や学活などを利用して，学習に対する意欲喚起や自覚を促す。
- ・計画的で継続的な家庭学習のために，各教科でどの程度の宿題が出ているのか，生徒も教師も分かるように小黒板に提示する。
- ・定期テスト前の学習時間の確保を図るために，テスト計画表をしっかりと記入させ，担任が点検・助言を行い，意欲化につなげる。
- ・必要に応じて，生徒主体のスタディマラソンなどを企画する。

#### ⑥道徳教育の充実

- ・聴き合い，話し合う道徳授業を実践する。
  - ・中心発問の吟味や教師のコーディネート力を意識した授業づくりに心がける。
  - ・構造的板書の工夫を図る。
  - ・模擬授業や研究授業を通して，道徳の授業力向上を図る。
  - ・ローテーションTT道徳を実施する。
- 学級担任以外の先生がT1（学級担任がT2）となり授業を行う。
- ・場合に応じ，地域人材などの活用として教材に適したゲストティチャーを招聘する。

## 4 研究組織



## 5 研修計画

|     |                                                        |
|-----|--------------------------------------------------------|
| 4月  | ・校内研修（御幸中における今年度の授業の方向性）<br>（特活・道徳・総合 GIGA スクール構想について） |
| 5月  | ・校内研修（授業改善・タブレット利用）                                    |
| 6月  | ・校内研修（新学習指導要領における評価について）<br>・授業力向上（互見）週間               |
| 7月  | ・学習アンケート【アンケートの分析及び対策】<br>・校内研修（生徒指導 いじめ未然防止について）      |
| 8月  | ・校内研修（1学期の取り組みの反省と2学期の授業改善に向けて・各教科の評価方法）               |
| 9月  | ・校内研修（授業改善に向けて）                                        |
| 10月 | ・校内研修（計画訪問に向けて）                                        |

|       |                                                      |
|-------|------------------------------------------------------|
|       | ・授業力向上(互見)週間                                         |
| 11 月  | ・計画訪問<br>・校内研修(授業改善に向けて)                             |
| 12 月  | ・校内研修(2学期の取り組みの反省と3学期に向けて)<br>・学習アンケート【アンケートの分析及び対策】 |
| 1 月   | ・校内研修(授業改善に向けて)                                      |
| 2・3 月 | ・校内研修(今年度の反省と来年度に向けて)                                |

## 6 研究構想図

